

スーパーバリュー、フードロス削減対策として、「Too Good To Go」を業界初導入 物価高の中、来店機会と“楽しいお買い物体験”を実現



「おいしいは、人が生きる力」を経営理念として掲げる「株式会社OICグループ（オイシーグループ）」（以下、OICグループ）は、グループ会社の「株式会社スーパーバリュー」（以下、スーパーバリュー）において、北欧発世界No.1のフードロス削減アプリ「Too Good To Go（トゥー グッド トゥ ゴー）」を、国内スーパーマーケットチェーン業界として初めて導入いたします。

「Too Good To Go」は、2015年にデンマークにて創業し、2026年1月に日本でのサービス提供を開始したフードロス削減アプリです。現在は世界21カ国に展開し、登録ユーザー数1億2,000万人以上です。

現在、日本国内では、事業活動に伴い発生する事業系食品ロスが年間約231万トンにのぼるなど、フードロスが大きな社会課題となっています。また、原材料高騰などによる物価高も深刻な課題です。

これらの課題に対し、関東エリアを中心に食品スーパーを展開するスーパーバリューは、3月26日より、一部店舗において、「Too Good To Go」を活用した新たなフードロス対策を実施いたします。

従来のフードロス対策である値引き販売に加え、まだおいしく食べられるにもかかわらず行き先を失いかねない食品をランダムに詰め合わせた楽しい福袋「サプライズバッグ」の販売を実施し、定価の最大50%オフで提供することで、フードロス削減と来店機会創出の両立を目指していきます。また、日々のお買い物を単なるルーティンではなく、驚きや感動のある体験へと変えていくことで、お客様の満足を追求していきたいと考えています。

OICグループは、グループ全体で取り組むフードロスプロジェクト“おいしー♥たのしー♥もったいないしー♥”の一環として、生産・製造、流通、小売、外食を総合的に展開する製造小売が連携し、商品開発・販売を行っています。

今後も、食料資源を有効活用し、持続可能な食の循環を支えるとともに、“楽しいお買い物体験”の実現を目指していきます。

2026年3月25日

株式会社OICグループ

株式会社スーパーバリュー

フードロス削減アプリ「Too Good To Go」を、スーパーバリューにて業界初導入

現在、日本国内では、事業活動に伴い発生する事業系食品ロスが年間約231万トン（下図参照）にのぼるなど、フードロスが大きな社会課題となっています。また、原材料高騰などによる物価高も深刻な課題です。

これらの課題に対し、関東エリアを中心に26店舗（3月25日時点）を展開する「株式会社スーパーバリュー」（以下、スーパーバリュー）の一部店舗において、北欧発世界No.1（2025年10月時点、「Too Good To Go」調べ）のフードロス削減アプリ「Too Good To Go」を、国内スーパーマーケットチェーン業界として初めて導入いたします。

従来のフードロス対策の値引き販売に加え、まだおいしく食べられるにもかかわらず行き先を失いかねない食品をランダムに詰め合わせた楽しい福袋「サプライズバッグ」の販売を実施し、定価の最大50%オフで提供することで、フードロス削減と来店機会創出の両立を目指していきます。

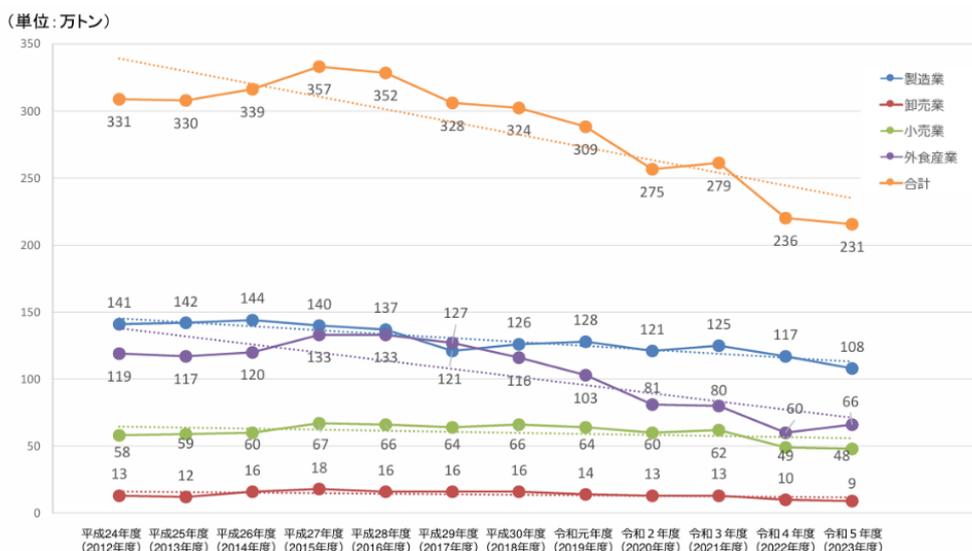
「サプライズバッグ」の実施店舗は、以下の通り

実施店舗：「スーパーバリュー 杉並高井戸店」、「スーパーバリュー 等々力店」

販売期間：2026年3月26日より開始

商 品：惣菜の一部商品

※店舗や期間は、商品の販売状況により、予告なく中止、変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



図：農林水産省「事業系食品ロス量（2023年度推計値）の推移」2025年6月

2026年3月25日

株式会社OICグループ

株式会社スーパーバリュー

OICグループの製造小売の連携により、“楽しいお買い物体験”の実現を目指す

OICグループは、グループ全体で取り組むフードロスプロジェクト“おいしー♥たのしー♥もったいないしー♥”の一環として、生産・製造、流通、小売、外食を総合的に展開する製造小売が連携し、商品開発・販売を行っています。

「食生活♥♥（ラブラブ）ロピア」では、鮮魚や精肉の加工において発生する端材を利活用した商品の「なめろう」や「冷凍カレー」を販売しています。また、OICグループ各社が共同開発した「鍋スープセット」なども取りそろえています。この商品は、鶏肉の生産加工を行う「甲斐食産株式会社」で発生する端材を活用し、ミシュラン獲得のラーメン店「株式会社ソラノイロ」がレシピを考案しました。製造は、惣菜の企画・開発を行う「DeRie Foods（デリエフーズ）株式会社」が担っています。

こうした商品の展開によって、食料資源を有効活用し、持続可能な食の循環を支えるとともに、“楽しいお買い物体験”の実現を目指していきます。（下図、“おいしー♥たのしー♥もったいないしー♥”ロゴマーク）



各社コメント

株式会社スーパーバリュー 代表取締役社長 浜野 仁志

スーパーバリューは、日々のお買い物を単なるルーティンではなく、驚きや感動のある体験へと変えていきたいと考えています。今回の取り組みは、お客様へ新たなお買い物の楽しさを提供するとともに、これまでご来店機会が少なかったお客様に当社の魅力を知っていただくきっかけにもなると考えています。社会課題の解決につなげていくことで、関わる全ての方に価値を届ける取り組みへと育ててまいります。



株式会社スーパーバリュー 代表取締役社長
浜野 仁志

同社 執行役員 兼 東京営業統括 野地 貴久

本取り組みは、単なる値引き販売やフードロス対策にとどまらない、お客様と商品の出会いや選ぶ楽しさをお届けするものと位置づけています。まずは、惣菜商品を対象として、将来的には、生鮮商品を含めた調理法提案という形で、お客様の満足とフードロス削減の両立を現場から推進してまいります。



執行役員 兼 東京営業統括 野地 貴久

【プレスリリース】

2026年3月25日

株式会社OICグループ

株式会社スーパーバリュー

Too Good To Go Japan株式会社 代表取締役 大尾嘉宏人氏

国内スーパーマーケットチェーンで初めて、株式会社スーパーバリュー様とともに取り組みを開始できることを大変嬉しく思います。地域に寄り添い、日々のお買い物に驚きや楽しさを届けてこられたスーパーバリュー様と取り組みを開始することは、「Too Good To Go」のユーザーにとっても日常のお買い物の選択肢が大きく広がることを意味しています。本取り組みを通じて、まだまだおいしく食べられる食品をお客様へお届けするとともに、フードロス削減を特別なことではなく、日々の暮らしの中の“当たり前の選択”として根付かせていきたいと考えています。

「Too Good To Go」について

「Too Good To Go」は、余った食品に価値を見出し、食品廃棄物のない地球を目指す、デンマーク発のソーシャルグッドカンパニーです。欧州、北米、アジア太平洋地域など21カ国で、1億2,000万人を超える登録ユーザーと18万のパートナーとともに、世界最大のフードロスマーケットプレイスを展開しています。グローサリーストア、ベーカリーカフェ、カジュアルレストラン、ファストフード、食品メーカーや卸業者など、幅広い業態と提携しており、Carrefour、ALDI、ユニリーバ、スターバックス、Whole Foods Market、SPAR、PAUL Groupなどが参加しています。

OICグループについて

“おいしい・たのしい・うれしい”食体験を世界に届ける、“食品総合流通業”を展開するOICグループは、1971年に精肉専門店として創業し、他の生鮮食品も取りそろえるスーパーマーケットに事業を拡大しました。現在では、小売の枠を超え、生産・製造、貿易、卸、外食まで事業を拡大し、“食のテーマパーク”と位置付けて展開しています。日本国内のみならず、アジアから世界で成長を続け、2031年度までに売上高2兆円の実現を目標としています。

商号：株式会社OICグループ
本社：神奈川県川崎市幸区南幸町2丁目9番地
設立：1971年4月28日
代表者：代表取締役 高木 勇輔
売上高：5,213億円（2025年2月期）
事業内容：食品スーパーマーケット・食肉専門店・外食店舗の運営、肉加工品・パン・惣菜・調味料などの製造・販売、食肉・青果物の生産・販売、生鮮品・加工食品・酒の輸出入・卸

スーパーバリューについて

商号：株式会社スーパーバリュー
本社：埼玉県上尾市宮本町5番18号三協堂ビル4階
設立：1996年3月
代表者：代表取締役社長 浜野 仁志
事業内容：食品スーパーマーケット・ホームセンター店舗の運営

【プレスリリース】

2026年3月25日
株式会社OICグループ
株式会社スーパーバリュー

本件に関するお問い合わせ先

株式会社OICグループ 経営戦略本部 広報室：<https://oicgroup.co.jp/contact/media>

